



コモンズ30 +しづぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● 基準価額の騰落率

(2015年2月27日付)

1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	設定来
6.87%	8.83%		7.48%

● ファンドのデータ

(2015年2月27日付)

基準価額	10,748円
純資産総額	104百万円
受益権総口数	96百万口

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	92.1%	+0.1%
静岡銀行株式	7.1%	▲0.3%
現金等・その他	0.8%	+0.2%
構成銘柄	31社	+1社

● 分配実績

初回決算未到来のため、分配金の実績はござません。なお、初回決算は2015年12月18日の予定です。

● 投資行動とパフォーマンス(コモンズ30+しづぎんファンド)

当ファンドは、コモンズ30マザーファンドを純資産総額の90%を組み入れ、静岡銀行株式を10%を上限として高位に組入れることを運用方針としています。2月末における各組入比率は、コモンズ30マザーファンド92.1%、静岡銀行株式7.1%です。当ファンドの月間リターンは6.87%となりました。なお、コモンズ30マザーファンドは6.62%の上昇、静岡銀行株式は13.10%の上昇となっています。コモンズ30マザーファンドの運用状況については下記をご参照ください。

● 投資行動とパフォーマンス(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎2月の組入銘柄(組入銘柄数、新規買付銘柄・全売却銘柄の有無)

2月末の組入銘柄は、1銘柄増加して30銘柄となりました。30ファンド「投資委員会」において、運用部は前月に引き続き新規買付候補1銘柄と全売却候補1銘柄を提案しました。活発な議論の結果、新規買付候補である「デンソー」の新規買付が承認されました。一方、全売却提案している銘柄については、継続審議となっています。

◎2月のポートフォリオの構成比(株式組入比率)

2月末の株式組入比率は98.0%となり、残り2.0%程度は現金などを保有しています。月を通して97%を中心プラスマイナス2%程度の範囲を維持しました。

◎2月の組入上位10社と投資行動

新規にトップ10に入った銘柄は、「システムズ」「楽天」「SMC」「ディスコ」「カカクコム」「クボタ」「東京エレクトロン」の7社です。主な投資行動は、新規買付銘柄である「デンソー」の買い付け、及びそれに伴って他の複数銘柄を少しずつ売却(トリミング)をしたことです。

◎2月のファンド月間リターンと個別銘柄の騰落率

2月のファンド月間リターンは6.51%の上昇となりました。あくまでご参考ですが、同月のTOPIXは7.69%の上昇となっています。ファンドの月間リターンがTOPIXを下回った要因は、「味の素」「ディスコ」「SMC」などがTOPIXを下回るリターンとなったためです。なお、新規買付け銘柄となった「デンソー」を除く、2月末で投資している29銘柄の内、月次株価騰落率がプラスとなったのは25銘柄、マイナスとなったのは4銘柄です。

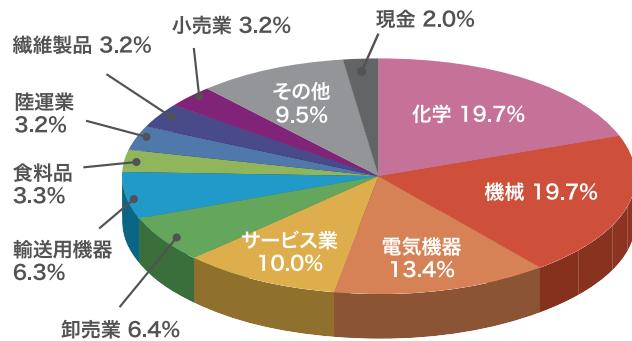
◎運用・調査体制について

是非、5ページ目をご確認下さい。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

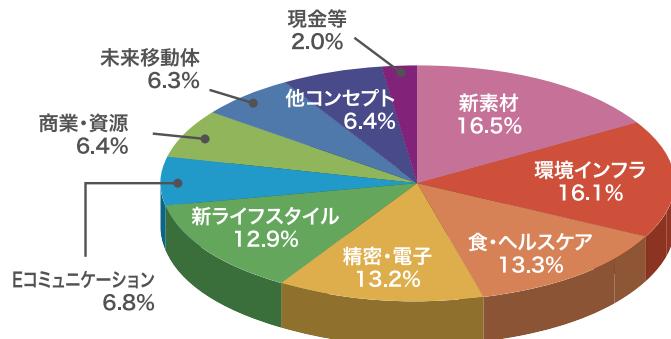
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎ 業種別構成比



◎ 未来コンセプト別構成比

(2015年2月27日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

※未来コンセプトは全10種類。詳細は5ページ参照

● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2015年2月27日付)

銘柄名 [コード]	業種	未来コンセプト	概要
システムズ [6869]	サービス業	食・ヘルスケア	血液検査機器では、国内第1位、世界第9位、特に血球計数分野では世界No.1の実力を誇ります。更に、赤血球分析から、免疫、DNAへ、大学、研究所、病院を顧客に急発展し、サステナブル企業として成長を続けています。
クラレ [3405]	化学	新素材	製造技術が必要で、他社が真似し難い製品を作っています。液晶の偏光板に用いられるポバールフィルム、自動車用ガソリンタンクに用いられるエバールなどでは、圧倒的なシェアを誇ります。
楽天 [4755]	サービス業	Eコミュニケーション	社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行ってています。
SMC [6273]	化学	精密・電子	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップです。フェスト(独)との世界2強で、新興国メーカーを寄せ付けません。自動車、電機、機械向けから、医療および食品関連でも成長しています。
ディスコ [6146]	化学	精密・電子	半導体やLEDの製造に欠かせないグラインダーやダイサーなど製造しています。「誰が正しいかではなく、何が正しいか」などディスコバリューで、自社の経営体制も磨き続けています。
旭化成 [3407]	化学	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っており、人工腎臓やリチウム二次電池用セパレーターなどは世界トップクラスです。
カカクコム [2371]	輸送用機器	Eコミュニケーション	価格.com(家電比較サイト)、食べログ(レストラン口コミサイト)など、利用者3,000万人以上のサイトを複数運営しています。今後も、インターネットユーザーの利便性を最重視し、旅行、不動産、映画など、新規領域での事業開発が期待されます。
クボタ [6326]	機械	環境インフラ	長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。
東京エレクトロン [8035]	化学	精密・電子	「医療や環境、新しい産業の未来を考えるとチップの将来は無限」と会長は確信し、商社から出発、今や世界トップの半導体製造であるアプライドマテリアルの背中まで迫っています。経営はクレドの心温まるメッセージでけん引。愚直で本質的な挑戦を続けています。
味の素 [2802]	サービス業	食・ヘルスケア	日本の昆布だしから抽出した「うま味」を発見、世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけています。

● 新規組入投資先

・デンソー

● 今月のピック！

「デンソー」を新規採用しました。技術の変化や経営環境の変化への対応力が高いと考えており、「ブランド力」、「ガバナンス」、「マネジメント」などを注目しています。

デンソーは1949年にトヨタ自動車から分離独立し「日本電装」として創業、洗濯機などの電気製品から、自動車部品であるカーエアコン、パワートレインなどに事業を拡大しました。そのなかで企業文化の「デンソースピリット」を共有、脈々と受け継いできました。

当面のビジネスは、自動車市場の拡大に加え、自動車のモジュール化（複数の機能をまとめた部品にすること）の流れで恩恵を受けます。中長期的には成長が期待される自動運転が追い風となります。自動運転では、数多くの情報をさばき、「瞬時に」、「ベスト」な指示を出すことが自動車部品メーカーに求められますが、デンソーは、ソフトウェア開発に注力するとともに、技術力を武器に強みを発揮していく見込みです。

筆頭株主（保有比率22.3%）のトヨタ自動車との関係では、ビジネスは基本的に任されており、良好な関係にあります。6月の株主総会で「ダントツ工場」や「ワンデンソー」を推進した有馬浩二専務役員（1981年入社の57歳）が社長に昇格、新しい体制が動き出します。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● 企業との対話

◎2/28～3/1開催 【美と資本主義を考えるin直島】

コモンズ投信×ベネッセアートサイト直島のコラボイベントが実現しました。満員御礼となったこの旅では、個人投資家のお仲間の皆さまから、現役大学生、母娘、ご夫婦でのご参加などなど、20代から60代までと年齢層も幅広い多彩な参加者の皆さまと共に、現代アートの聖地直島と近代化産業遺産の犬島を回り、建築、アート、自然、地域を体験して参りました。

*早速、会長渋澤も自身のブログにてご紹介させていただいております。

<http://alt-talk.cocolog-nifty.com/alternative/2015/02/post.html>

ツアーの中ではコモンズ投信主催「コモンズダイアログ イン 直島」も開催。

公益財団法人福武財団事務局長である金代健次郎氏より、ベネッセがみる直島の「真の価値」についてお話を伺いし、トークセッションでは、ベネッセホールディングス代表取締役副社長 福原賢一氏より同社の今後の取り組みについての想いもお聞きすることができました。

そして、「八つの日本の美意識」を表す8つの文字を用いたグループディスカッションでは、一文字を各グループで選び、話し合っていただくことで、参加者のみなさま同士でも「美と資本主義」について考察を深めていただくことができました。

コモンズナイトでは社長伊井よりコモンズ投信についてご説明をさせていただき、コモンズの理念や現在取り組んでいることについて、改めて参加者のみなさまと共有させていただくことができました。



● メディアに登場！

日付	掲載メディア	ニュース
2月2日	日経電子版	マネー底流潮流「日本株、原油安の光と影の攻防へ」の中で伊井がコメントしました
2月9日	BSジャパン	『日経朝とく』に糸島が出演いたしました
2月5日	日経新聞	17面「低PBR株に資金移動」の中で糸島がコメントしました
2月5日	AllAbout	AllAboutの注目の投資信託の最新情報にザ・2020ビジョンが取り上げされました
2月9日	グッドウェイ	金融&IT業界の情報ポータルサイトGoodWayがコモンズ30塾【セブン&アイHD】を記事にしてくださいました
2月14日	日経新聞	17面「高ROE銘柄にも株価格差」の中で糸島がコメントしました
2月15日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言「良識ある資本主義>21世紀の資本」
2月20日	日経DUAL	渋澤健 チェンジメーカーの7つの感情 第2回ポピングス中村紀子社長「ありのままで～なんて嘘よ」
2月25日	ラジオNIKKEI	『東証+YOU』に渋澤が出演しました
2月26日	STOCK VOICE	東京マーケットワイドに糸島が出演しました
2月27日	時事.com	重要:証券業界、子ども版NISAに熱視線=金融資産、移転期待で「こどもトラスト」が紹介されました

● ちょっといい話

みなさま、こんにちは。肌寒い日々が続きますが、株式市場は熱いです。ここまで来ると、さすがに日経平均の20,000円が視野に入りますね。目が悪い、私でさえ(笑)。

しかし、こういうときこそ長期投資で忘れてはならない心構えがあります。価格ではなく、価値を見よ。

当たり前のことですが、保有している株式の値上がりは歓迎すべき傾向です。そういう意味で、安く買って、高く売ることが投資だと思っている人々が多いです。ただ、価格水準だけで判断した投資と投機に違いがあるでしょうか。

投機は短期的で、投資は中長期的。そのように考えるのが普通です。でも、どれくらいの時を経たら、投機が投資へと変身するのか、その線引きは曖昧です。

私は、このように整理しています。投機の判断は価格。相場動向の脈を計りながらトレーディング(売買)を繰り返します。これは、悪いことではありません。20代～30代の自分は金融のプロとして、ずっとその世界にいましたから。

一方、投資とは自分が思っている価値と比べて価格が安ければ買って、価値と比べて価格が高ければ売ることです。つまり、自分自身の価値判断がなければ、投資にはなりません。

その価値判断を価格に置き換えてしまうと、価格が高くなると価値が高いと思うので買ってしまいます。そして、価格が安くなると価値が低いと思うので売ってしまう。これを繰り返したら、良い思いができる訳はないですね。

だから、現在、株価が上がっているから投資に価値があると思うと、良い結果は期待できないでしょう。一方、株価が上がっても、それを支える企業の価値がもっと高いと思えば、まだ買いなのです。

その「価値」とは人々それぞれにとって異なります。それで良いのです。人々の美感覺のように多様な価値観が、自由に参加しているのが健全な資本市場ですから。

コモンズ投信株式会社
取締役会長 渋澤 健



● コモンズ流投資判断(コモンズ30マザーファンド)

「投資委員会と運用部」

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 20%以上の現金比率についても、投資委員会で決定
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長 ・10~20%の現金比率の決定
渋澤 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(2%~4%) ・10%以下の現金比率の決定
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
鎌田 聰	運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

「投資先選びのプロセス」



● 未来コンセプトについて

当ファンド独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10

商業・資源	環境インフラ	代替エネルギー	新素材	未来移動体
精密・電子	食・ヘルスケア	新ライフスタイル	E-コミュニケーション	教育・娯楽

● コモンズ30+しづぎんファンドの費用について

購入時手数料	指定販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%（税込1.15%）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価格は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料（費用）等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● お申込みメモ

信託設定日	平成26年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることができます。）
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	継続申込期間（平成26年12月29日から平成28年3月17日まで） 購入申込受付日の翌営業日の基準価額（ファンドの基準価額は1万口あたりで表示しています。）
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
換金制限	信託財産の資産管理を円滑に行うため、1日1件5億円を超える換金はできません。 また、別途、大口換金には制限を設ける場合があります。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

● 販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
（株）静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○	○	
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○